

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年度)	情報ネットワーク工学科の定員超過の是正に努めること。	遵守事項	<p>平成31年度入学者判定会議において、過去の入学試験における志願者、合格者数の歩留率等のもとに合格判定を行った。</p> <p>情報ネットワーク工学科では、31年度入試においては、模擬試験等の結果から全体的に本学を含め、併願大学の志願者が増える予想であったこと、他、本学の併願大学の大規模大学で昨年度100名近くの追加合格を出されていたことから、本年度の入試においては、歩留率が低いと予想していた。本年度は、志願者数が昨年度より1.26倍と増えたが、合格者数は昨年並みとしたが、歩留率が高く、入学者が増える結果となった。</p> <p>他大学の状況や本学の志願者や過去の歩留率等を考慮しながら合格者を出しているが、年度によって予測が難しい状況であった。入学した学生には、教育の面で支障がないように対応していく。</p>	履行済
設置計画履行状況 調査結果 (令和2年度)	入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善)	<p>情報ネットワーク工学科は、令和2年度入試において、志願者が前年度より1.17倍の志願者増であったが入試制度の最終年度でもあり、併願者等も考慮し、入学者予想をし、一般入試と大学センター利用入試において、合格者を前年度より約30%減の合格者をだした。手続者は、前年度より26%減であったが、指定校推薦志願者増により最終的には、手続者増となった。</p> <p>次年度は、他大学の状況や歩留率等を考慮しながら合格者を出していくが、年度により予測が難しい。入学した学生には、教育の面で支障のないように対応する。</p>	履行済

<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和3年度)</p>	<p>入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>令和2年度入試は、入試改革の前年度ということ、また、情報ネットワーク工学科は近年、情報分野に人気が高まっている等全体的にも受験生一人あたりの併願が増えており、志願者数も増加傾向である。そのような状況から、本学の歩留り率は例年より高くならないであろうとの予測を基に合格者数を決定した。しかし、予想以上の歩留り率の結果、入学定員の1.46倍となってしまう。令和3年度入試においては、前年度入試の歩留り率および全体的な動向を踏まえ、合格者数を決定したため、入学定員超過率が1.26倍へと改善に繋がっている。次年度以降も全体的な入試状況を見据えながら定員超過にならないように努めていきたいと考えている。</p>	<p>履行済</p>
<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和4年度)</p>	<p>入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>ここ近年の情報分野における興味・関心により、情報ネットワーク工学科への入学志願者数の増加傾向は進んでおり、大幅な定員超過に細心の注意を払う必要があった。令和4年度入試においては、前年度入試の歩留り率および全体的な動向を踏まえ、合格者数を決定し、入学定員超過率が1.27倍と前年度同様の数値となり、改善に繋がっている。次年度は入学定員数を90名に増やす届出をしていることから、入学者選抜の適切な実施を通じ今年度よりも改善が見込めると判断する。さらに全体的な入試状況を見据えながら定員超過にならないように努めていきたいと考えている。</p>	<p>履行済</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。